

東テクグループ 2026年3月期 第2四半期 決算説明会資料

東テク株式会社

2025年11月19日

業績：過去最高の期間売上高と利益

- 大都市を中心とした再開発の新築需要に加え、民間投資案件(データセンター、工場、ホテル等)や官公庁案件の需要取り込みにより商品販売事業、工事事業ともに好調に推移。増収効果と受注時採算の改善により各段階利益も中間期として過去最高益となった
- コア3事業の空調分野、計装分野、エネルギー分野ともに前期比で二桁の増収となり、受注状況も堅調に推移

売上高

784億円
(前期比+14.8%)

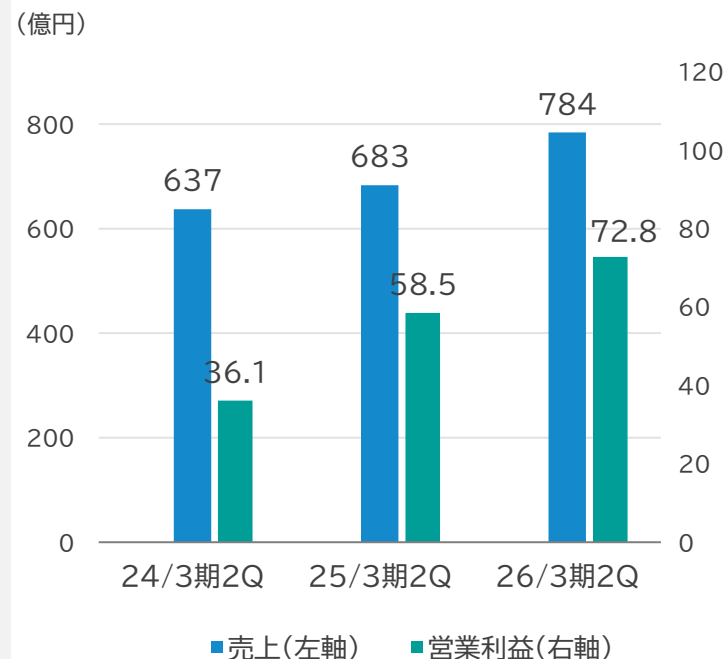
営業利益

72億円
(前期比+24.4%)

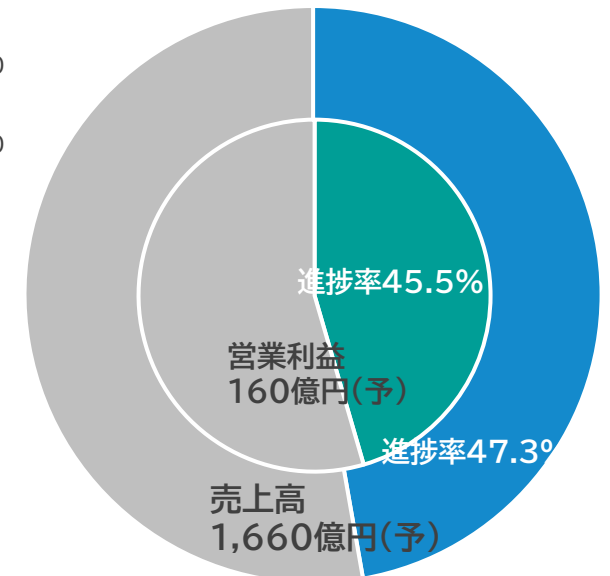
営業利益率

9.3%
(前期比+0.7Point)

3期比較



進捗率(外:売上高、内:営業利益)



通期(2026年3月期)通期業績の上方修正



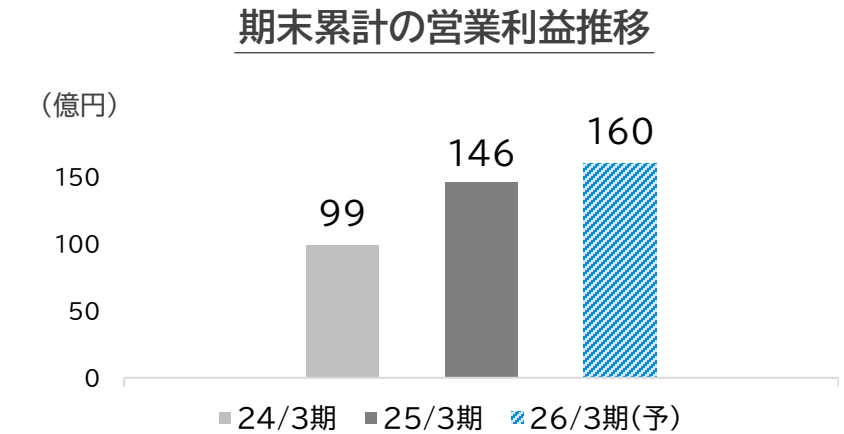
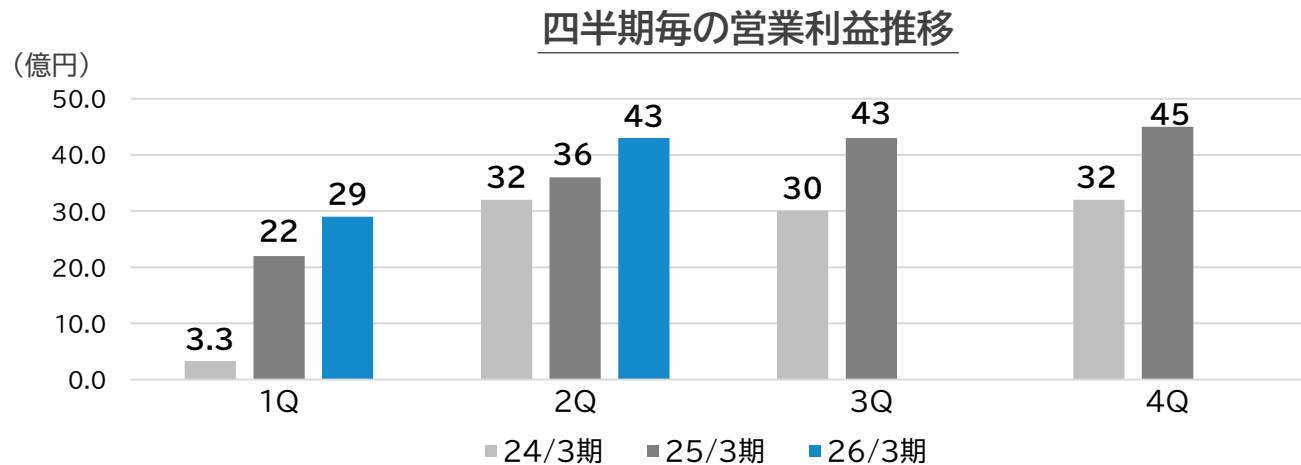
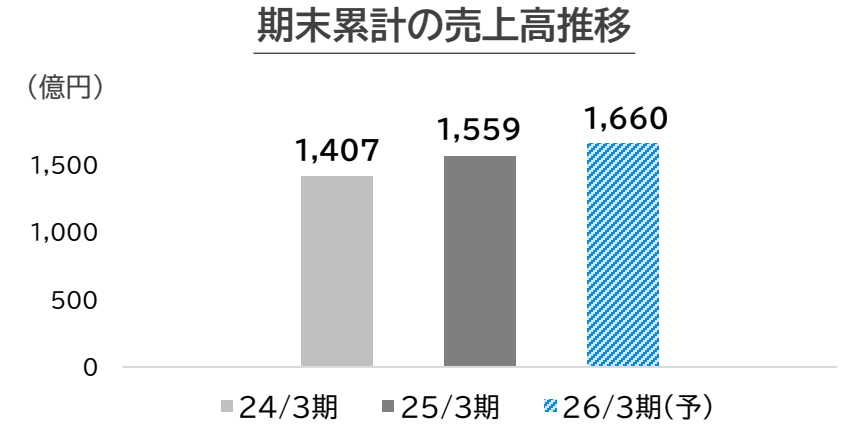
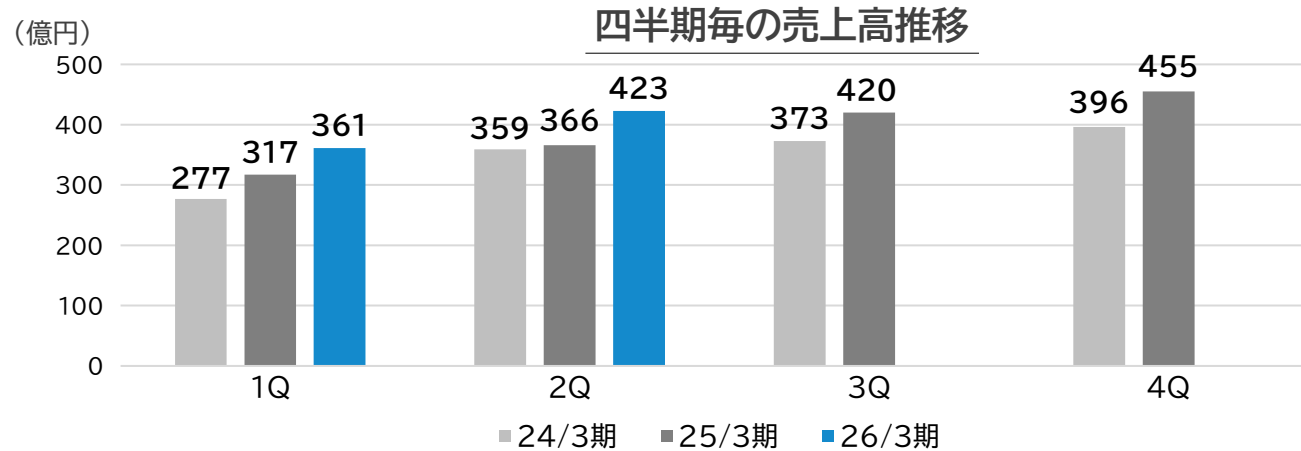
- 2Q業績を踏まえ通期業績の上方修正を発表、配当についても業績修正と連動し、13円増配し通期117円とする
- 今期最終年度となる中期経営計画の数値目標についても同額に上方修正

	2025年3月期 実績(億円)	2026年3月期 ＜期初予想＞ (億円)	2026年3月期 ＜今回予想＞ (億円)	前年実績比率 %	前回予想比 %
売上高	1,559	1,600	1,660	+6.4%	+60 (+3.8%)
営業利益	146	150	160	+8.9%	+10 (+6.7%)
経常利益	155	158	168	+7.9%	+10 (+6.3%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	107	120	+7.2%	+13 (+12.1%)

- 売上高は、前期比+14.8%(+101億円)と二桁増収
- 旺盛な需要の中で、採算を重視した工事案件の増加が牽引し、営業利益は前期比24.4%増の72億円。経常利益は77億円、当期純利益も52億円と過去最高益

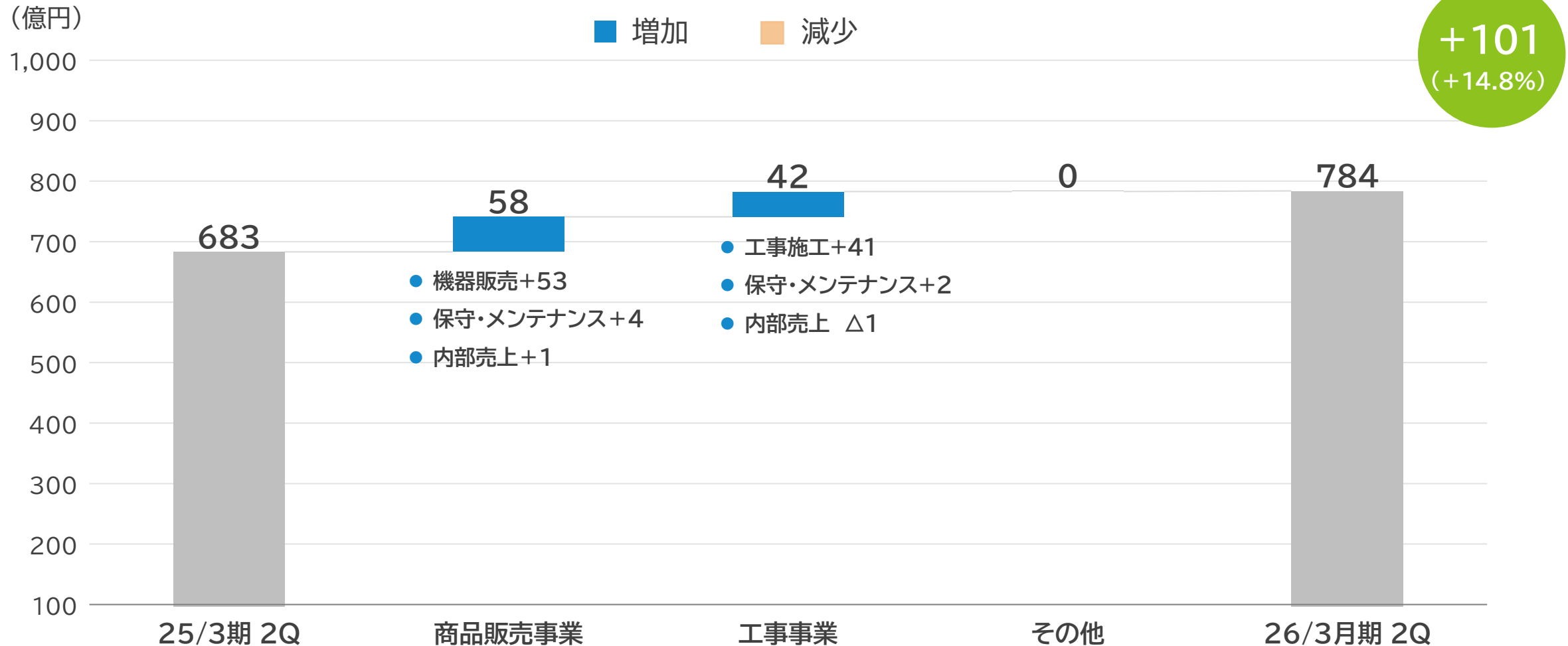
(億円)	2024年3月期 2Q実績	2025年3月期 2Q実績	2026年3月期 2Q実績	利益率 %	前期比 増減額
売上高	637	683	784	—	+101 (+14.8%)
営業利益	36	58	72	9.3%	+14 (+24.4%)
経常利益	40	63	77	9.9%	+13 (+21.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	26	45	52	6.6%	+6 (+15.2%)

- 四半期ベースで売上高・営業利益ともに過去最高を達成
- 受注時採算の改善、稼働率が上がったことにより1Qに続き2Qにおいても利益計上幅が増加



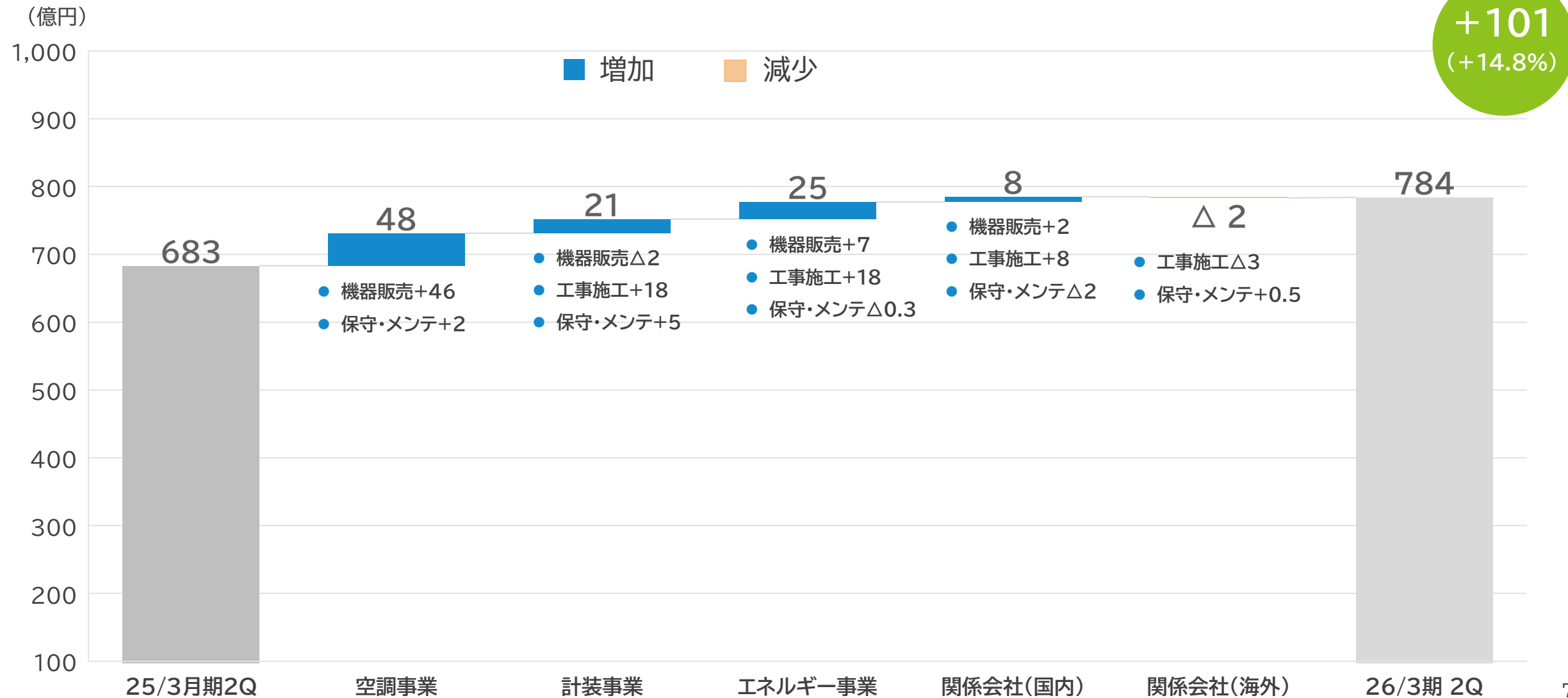
売上高増減要因(セグメント別)

- 商品販売事業においては機器販売が増加、工事事業も順調に推移し、前期比101億円(+14.8%)の増収
- 商品販売事業、工事事業ともに保守・メンテナンスも堅調に推移

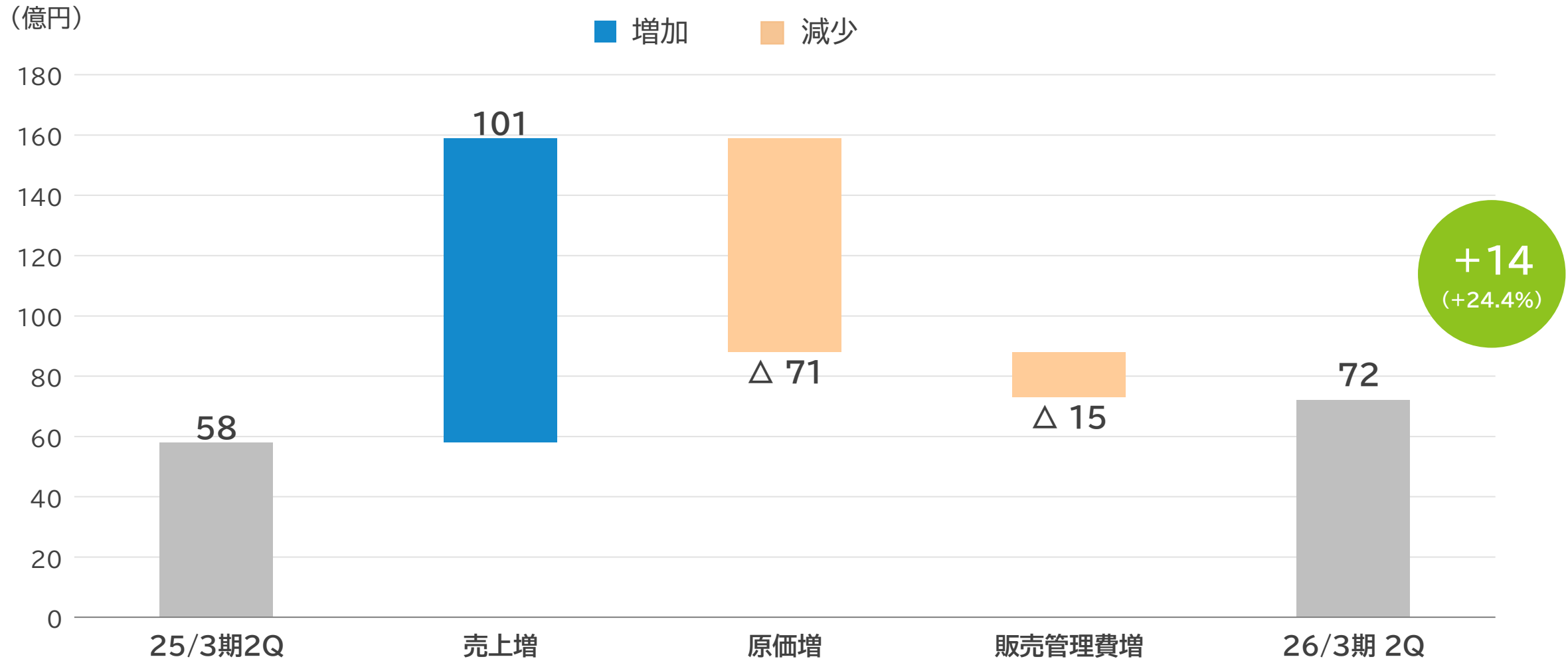


事業分野の売上増減要因

- 空調事業が大幅に伸び、計装、エネルギーのコア事業も順調。国内関連会社は前期比増収となったが、海外のみ微減となった
- 工事施工に関しては、計装事業、エネルギー事業、国内関係会社ともにバランスよく増加



- 売上の増加(前期比+14.8%)に伴う売上総利益の拡大により販売管理費のコスト増加分を吸収し前期比+14億円の増益
- 販管費においては、ベースアップ増加による人件費増があったものの、増収と売上総利益率の改善で吸収し営業増益



セグメント別収益分解情報

- 商品販売事業の機器販売、工事事業の工事施工ともに二桁の伸びとなり、全体の売上増と工事事業の伸びは売上総利益率向上に貢献
- 商品販売事業・工事事業ともに保守・メンテナンスも順調に拡大

(億円)	2025年3月期2Q	2026年3月期2Q	
	売上高	売上高	前期比%
商品販売事業	388	447	+15.1%
機器販売	329	382	+16.2%
保守・メンテナンス	80	84	+5.0%
内部売上	△21	△20	-
工事事業	294	337	+14.5%
工事施工	240	281	+17.3%
保守・メンテナンス	55	57	+4.1%
内部売上	△0	△2	-

*各セグメント売上はセグメント間の内部売上を除いた数値

事業部別 収益分解情報

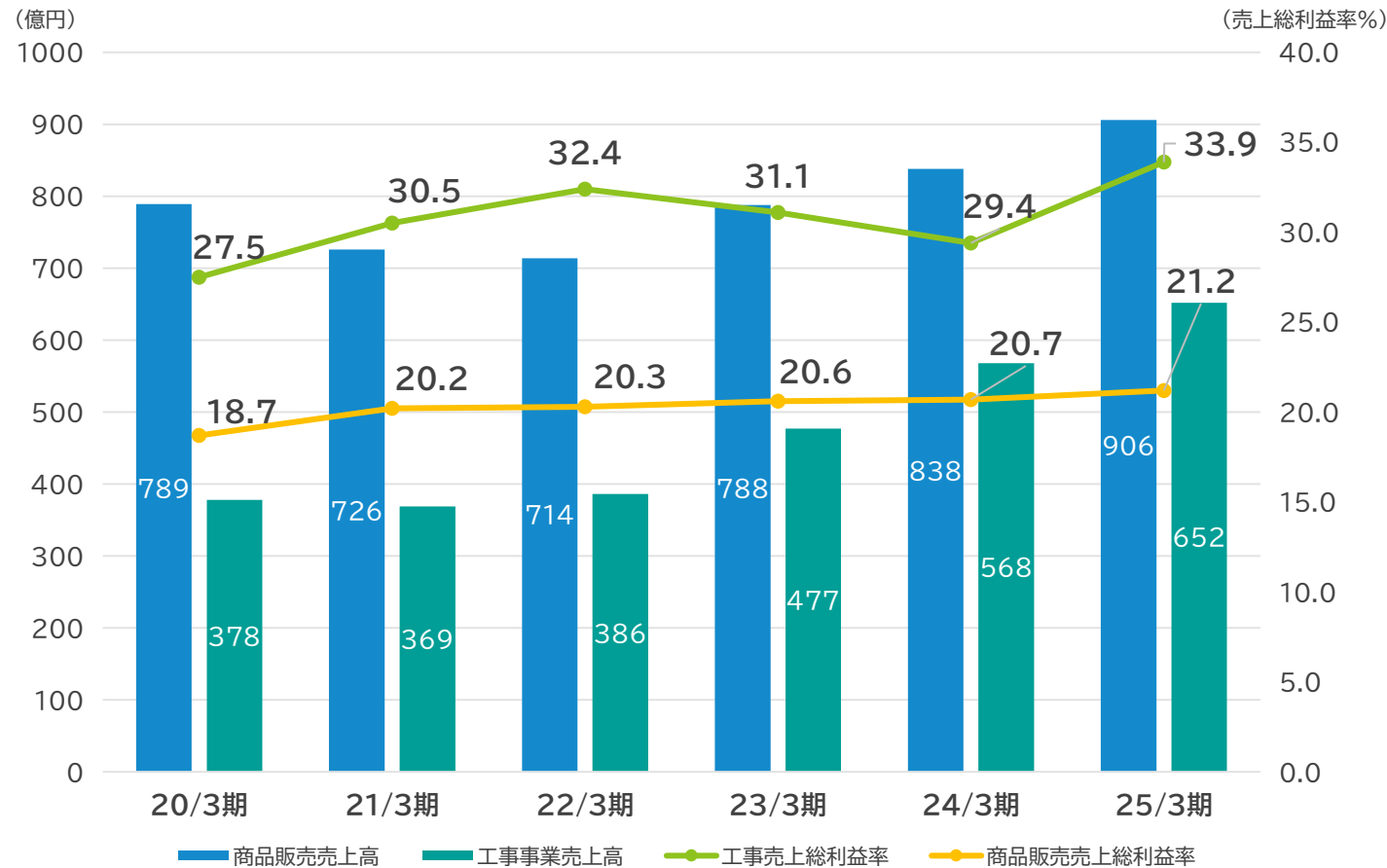
- コア3事業の空調事業、計装事業、エネルギー事業が二桁の伸長
- 国内関係会社も増収となったが、海外子会社のみ微減となった

	2025年3月期 2Q	2026年3月期 2Q	
	売上高(億円)	売上高(億円)	前期比
空調事業	302	351	+16.2%
機器販売	287	333	+16.1%
保守・メンテナンス	14	17	+18.8%
計装事業	121	142	+17.4%
機器販売	6	4	△34.7%
工事施工	98	117	+18.4%
保守・メンテナンス	15	21	+34.1%
エネルギー事業	64	89	+39.5%
機器販売	6	14	+107.0%
工事施工	40	58	+45.7%
保守・メンテナンス	17	16	△2.0%
関係会社(国内)	187	196	+4.6%
機器販売	28	31	+7.9%
工事施工	82	90	+10.3%
保守・メンテナンス	76	74	△2.7%
関係会社(海外)	29	26	△10.0%
工事施工	18	15	△18.7%
保守・メンテナンス	11	11	+4.8%
内部売上	△22	△22	-

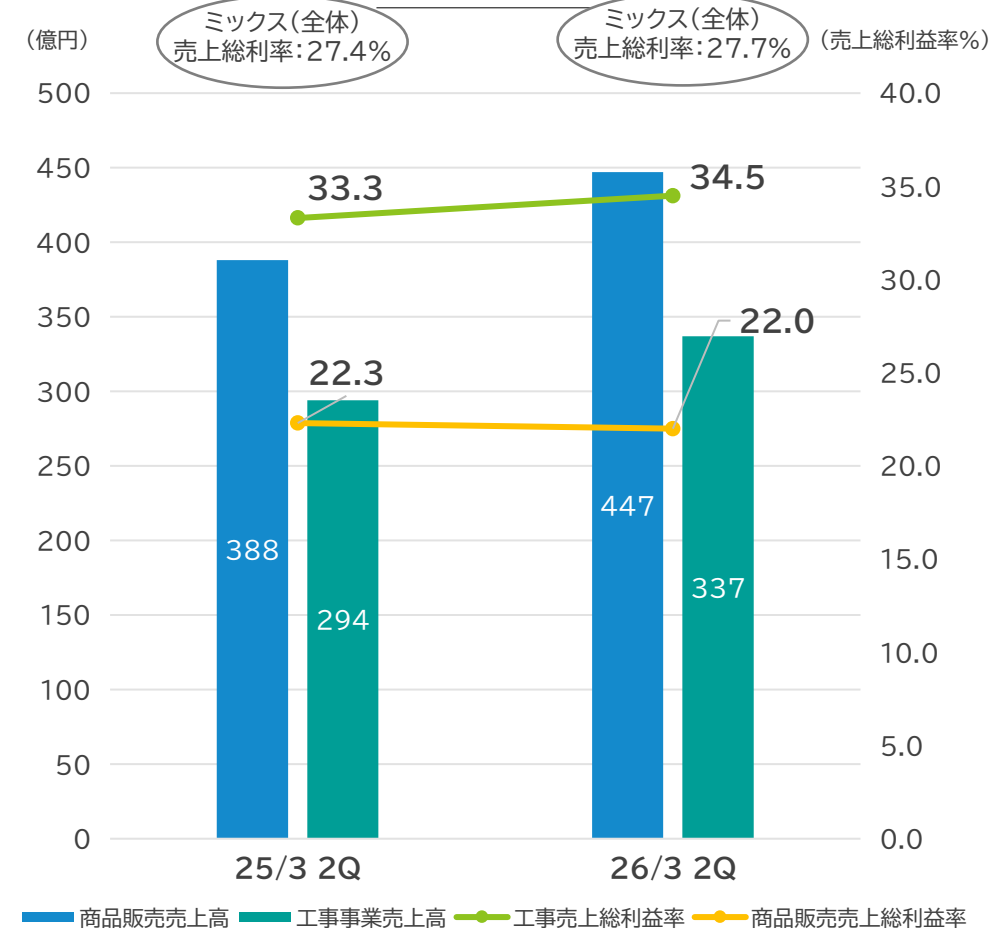
セグメント売上高・売上総利益率推移

- 2Qの売上総利益率は27.7%となり、前期比+0.3ポイントの改善
- 商品販売事業の売上総利益率は若干前期を下回るも、工事事業の増収と売上総利益率改善が全体の売上総利益率改善に貢献

過去6年推移



前期比較

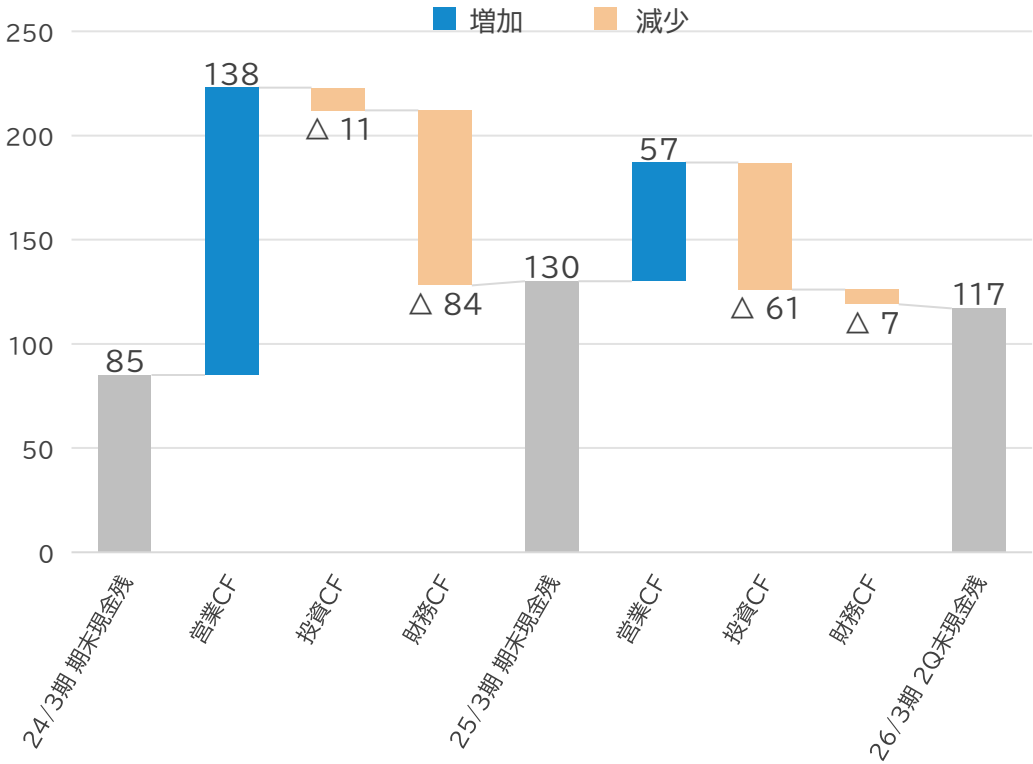


貸借対照表 及び キャッシュフロー

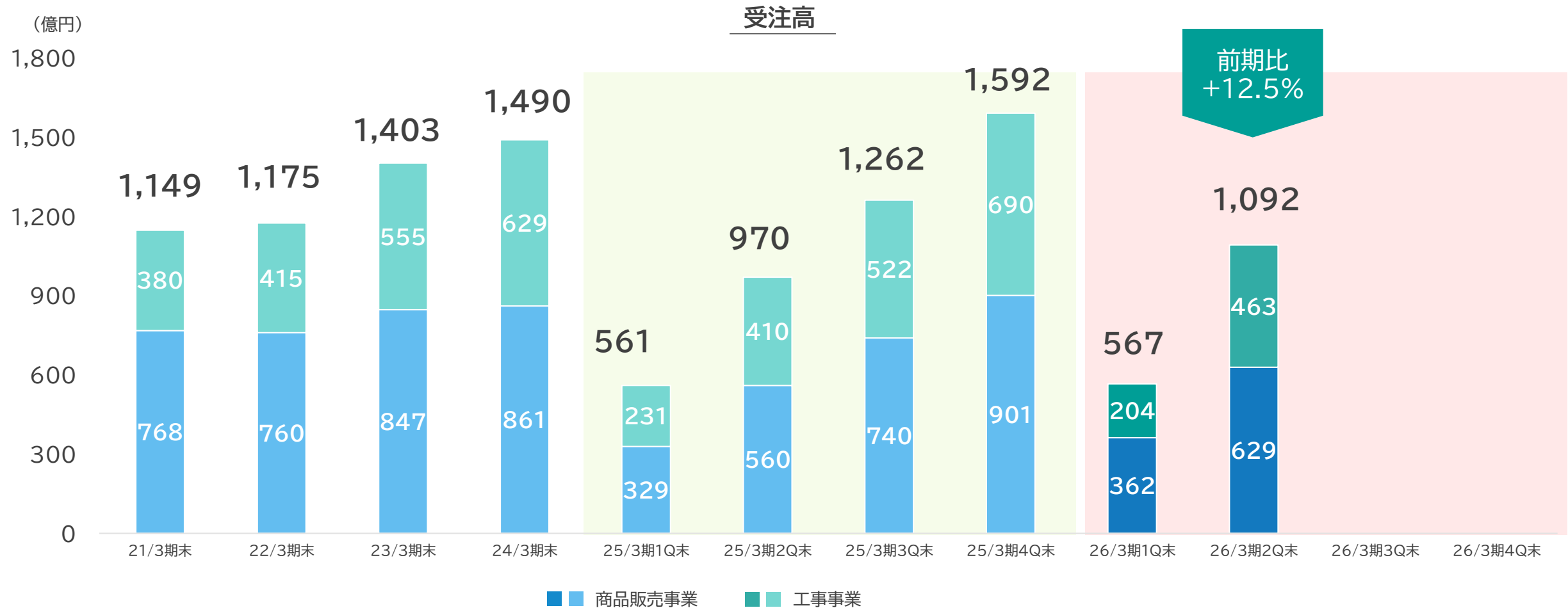


(億円)	2025年3月期	2026年3月期 2Q	増減額
流動資産	602	531	△71
現預金	130	121	△9
受取手形及び売掛金及び契約資産、電子記録債権	408	360	△47
棚卸資産	46	38	△7
その他	17	11	△5
固定資産	449	552	+103
有形固定資産	209	258	+49
無形固定資産	29	36	+7
投資その他の資産	210	257	+46
総資産	1,052	1,084	+31
流動負債	392	362	△29
支払手形及び買掛金、電子記録債務	232	189	△43
短期借入金	29	70	+40
その他	129	103	△25
固定負債	47	65	+18
長期借入金	8	1	△6
その他	39	64	+25
純資産	612	655	+43
株主資本合計	526	540	+14
その他包括利益累計等	86	114	+28
負債純資産合計	1,052	1,084	+31
自己資本比率	58.2%	60.4%	+2.2%

(億円)	2025年3月期2Q	2026年3月期2Q
営業CF	43	57
投資CF	0	△61
フリーCF	43	△4
財務CF	△42	△7
現金等残	87	117

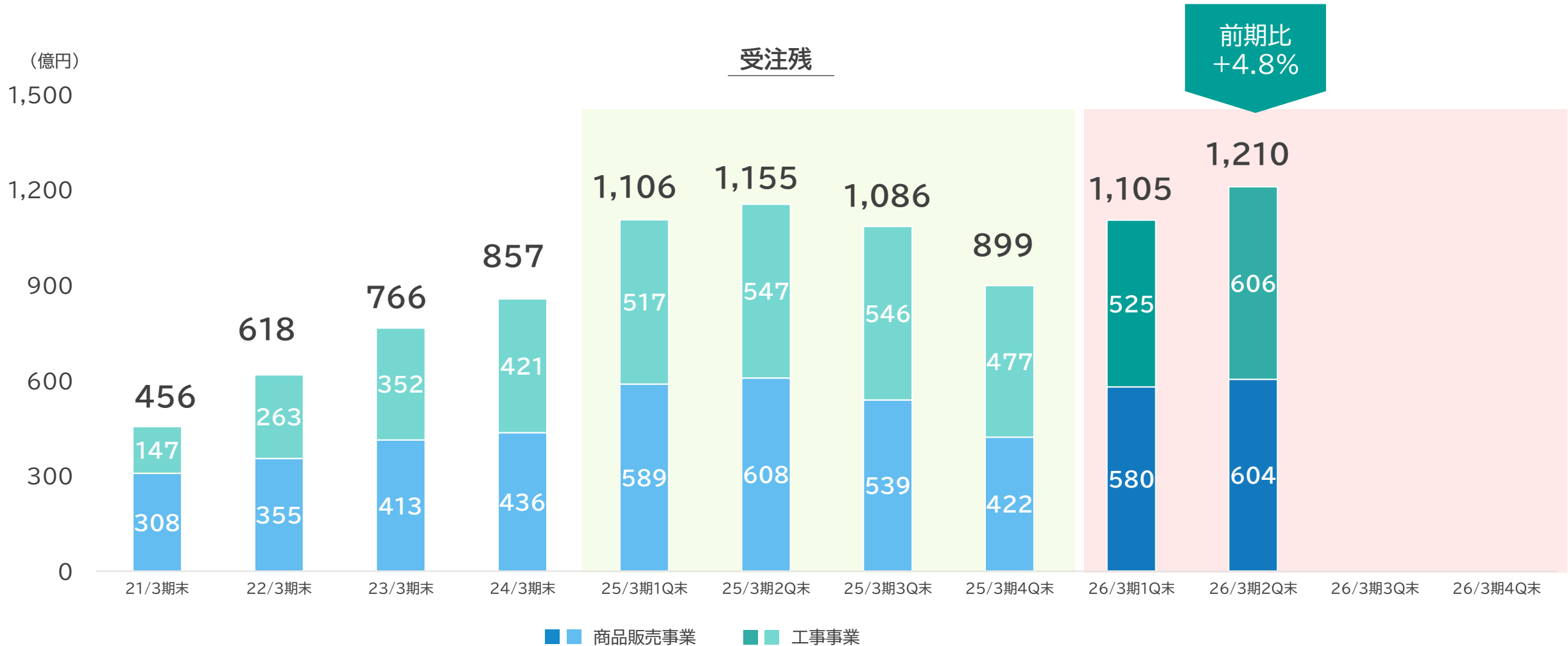


- 供給面も勘案した戦略的な受注獲得により受注高も順調に推移(受注高は前期比+12.5%)
- 売上総利益率の高い工事業の受注高が+12.8%と堅調に推移(商品販売受注高は前期比+12.3%)



受注残の状況

- 供給面も勘案した戦略的な受注獲得により受注残も堅調に推移(受注残は前期比+4.8%)
- 売上総利益率の高い工事業の受注残が+10.8%と堅調に推移(商品販売受注残は前期比△0.6%)



※2022/3期より海外子会社(QA)含む

通期業績予想:2026年3月期



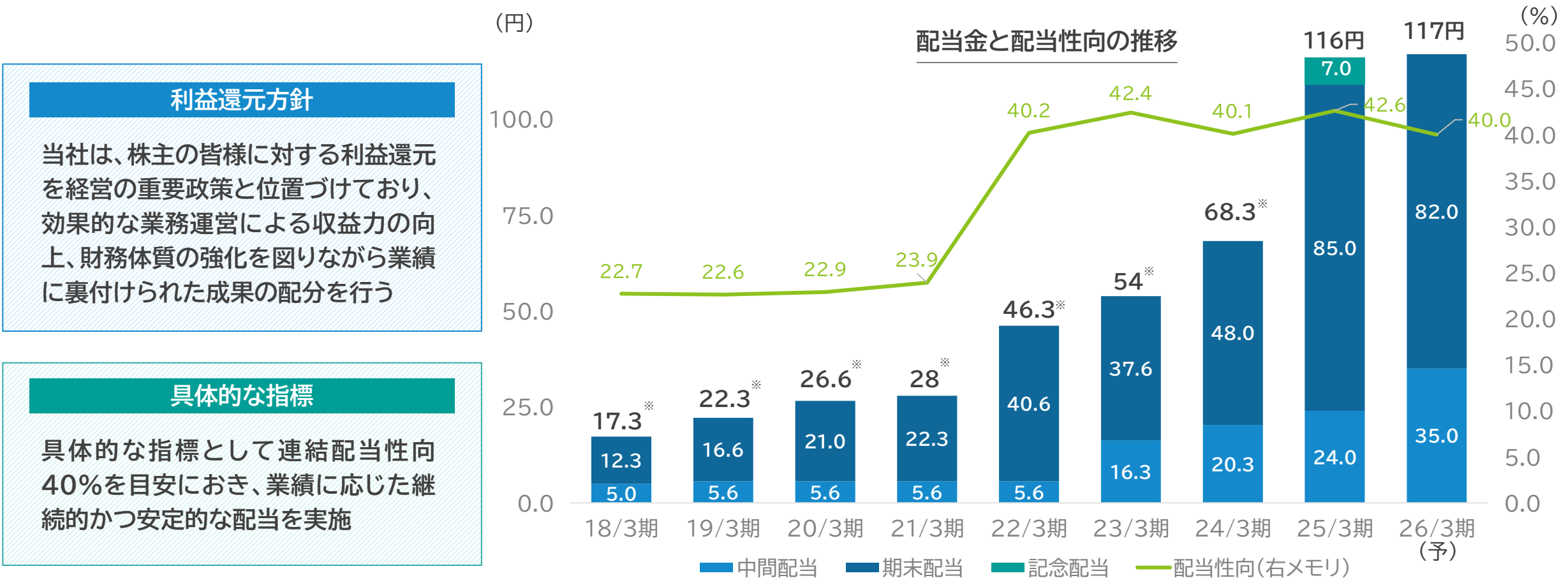
(億円)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (修正予想)	増減率
売上高	1,559	1,660	+6.4%
営業利益	146	160	+8.9%
経常利益	155	168	+7.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	120	+7.2%

【事業環境見通し】

当社グループを取り巻く建設業界は都市部を中心に大型の再開発案件が継続されるものと期待されますが、原価の上昇や物流コスト増が予想されます。また、社員のモチベーション向上や優秀な人財獲得を企図しグループとして給与水準を引き上げるため販管費の増加を見込んでおります。経営環境は不透明な状況が続くことが見込まれますが、中期経営計画にもとづく事業拡大方針の実行により、増収を目指してまいります。

配当政策 これまでの配当実績と当期予想

- 「連結配当性向40%を目安とする」ことを基本方針に据え2025年3月期は年間109円の配当に70周年記念配当+7円を加え、116円配当を実施。
- 2026年3月期予想は、期初比13円増の117円を計画（配当性向：40.0%）



※ 2024年4月1日より株式の3分割を実施しております。過去の配当金につきましては、分割後の株式数にて算出しております。

資本コストを意識した企業価値向上に向けて

- 当社の想定する株主資本コストは、長期金利上昇と投資家の期待リターンも踏まえ、7～8%程度と認識
- ROEは毎年10%以上で推移、エクイティスプレッドはプラスの状態を維持
- 政策保有株を連結純資産の20%以下へ新たに目標設定

主要財務指標

自己資本比率	50%前後
PBR	1倍以上
ROE	12%以上

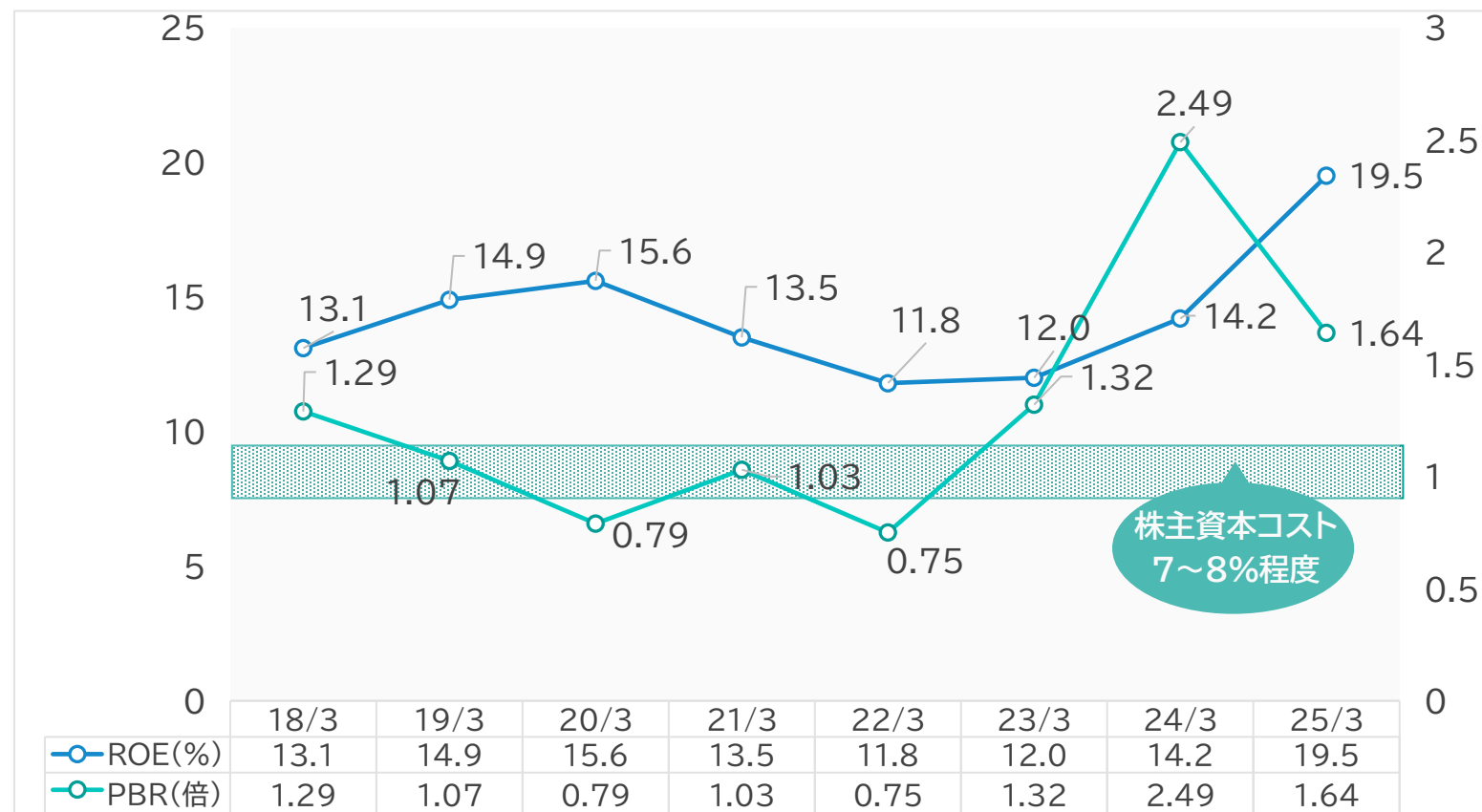
株主資本
コスト



ROE

PBR

安定的かつ継続的に
1倍以上を維持



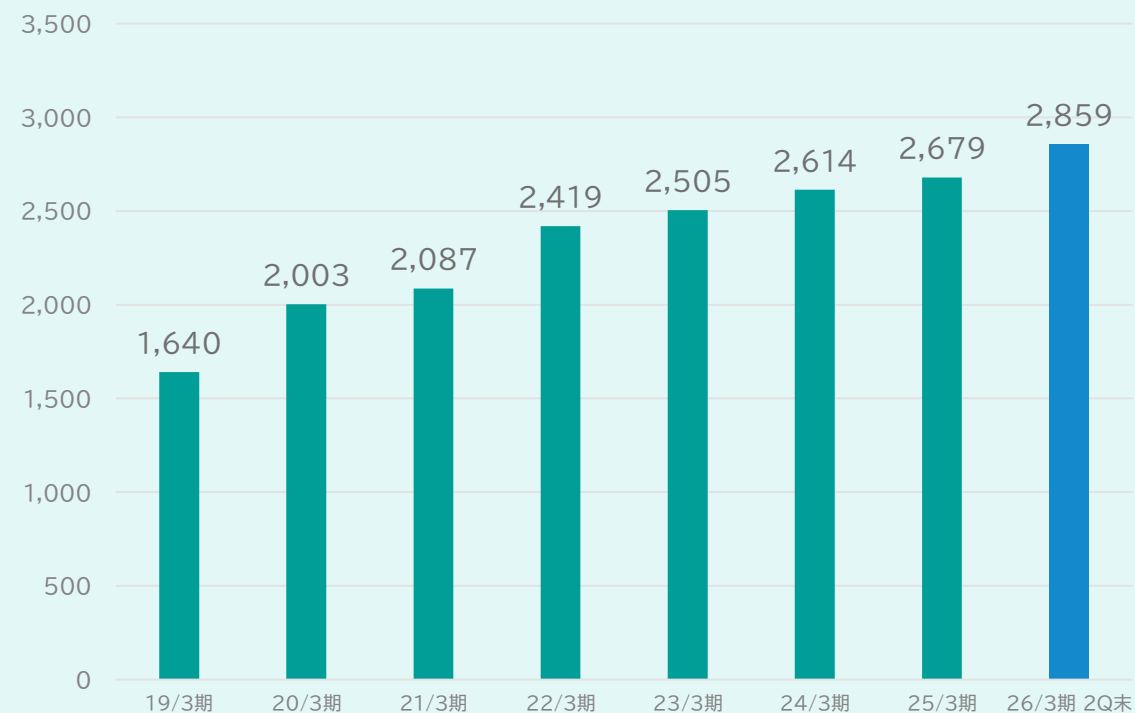
- 来年度の新卒入社は、グループ全体で135名を予定（前年度は115名）
 - 今年度のグループ全体の中途入社は108名を予定（10月時点）
- ⇒新卒、中途とも積極的な採用を継続。社員増加による持続的な成長基盤を構築中

内定式(2025年10月1日)



東テック本社・各支店をオンラインで結び実施した内定式(東テック内定者80名)

社員の推移(連結)

25年度:
新卒115名

拠点網の拡大：国内＆海外で新拠点開設

- 四国エリアの基盤強化と海外における体制強化を目的に、高松とホーチミン（ベトナム）に新拠点を開設

拠点網の拡大

国内：高松営業所



東テック 高松営業所(10階)

目的

四国エリアの基盤強化

海外：ホーチミン事務所



Totech Vietnam Solutions Co., Ltd. ホーチミン事務所(7階)

目的

体制強化

DXを活用したコア事業の強化:リモートメンテナンスの推進



■ 保守の新スタンダード、「リモートメンテナンス」を推進し、客先へ拡販

リモートメンテナンスとは・・・アズビル社のネットワーク回線を介して収集したデータを基に、監視装置の遠隔診断、ローカル制御動作の挙動確認、制御性の評価を行うサービス。機器の安定稼働と予防保全を効率的に実現

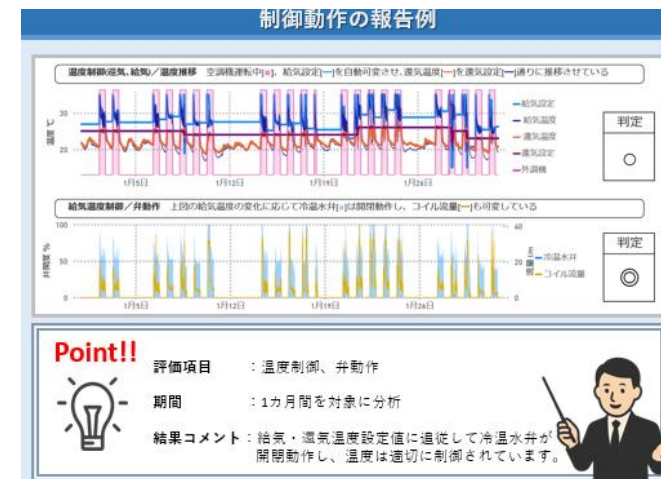
現場での点検

- じんかい 塵芥除去
- 寿命部品交換
- 機器動作の確認
- 音・匂い・振動など五感での確認



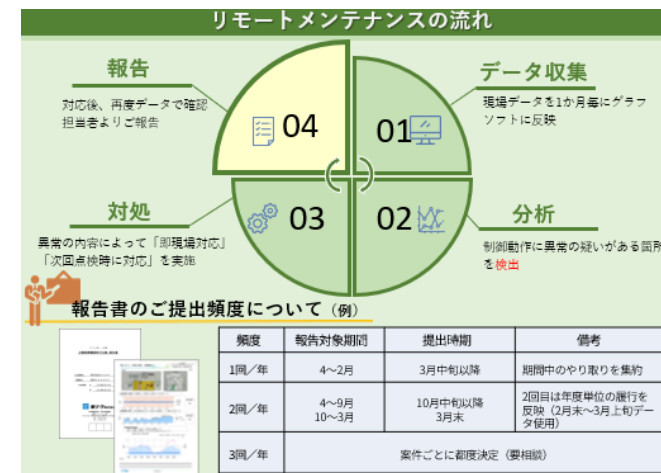
データでの点検

- 連続運転データでの挙動を確認
- 設定値に対する追従性の評価
- 設定値の妥当性を評価
- 運用改善の検討



リモートメンテナンスのメリット

- ◎ 現地点検で確認しづらい箇所もデータで確認できる
- ◎ 連続したデータの確認で異常検知がしやすい
- ◎ 機器の制御動作を俯瞰して把握できる
- ◎ 施設への入退室機会が減ることで情報セキュリティリスクが緩和し、お客様負担も軽減



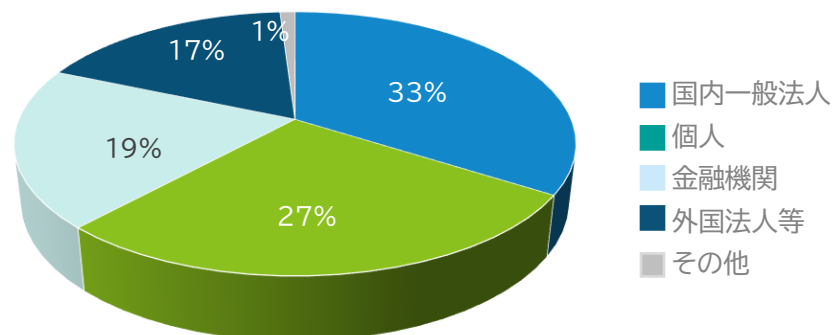
<APPENDIX>

商号	東テック株式会社（東証プライム上場:9960） TOTECH CORPORATION
設立	1955年7月6日
事業内容	空調等設備機器販売事業、計装事業、エネルギー事業等
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3-11-11
資本金	1,857百万円（株主数 9,087名）（2025年3月31日現在）
決算期	3月31日
従業員数	2,648名（連結）1,089名(単独)（2025年3月31日現在）
役員	取締役会長 長尾 克己 代表取締役社長 小山 馨 取締役 斎藤 政賢、取締役 宇佐美 敦子 取締役監査等委員 中溝 敏郎、取締役監査等委員 荒田 和人、取締役監査等委員 久保田 征良 * 監査等委員会設置会社
子会社(連結)	国内子会社7社、海外子会社6社（2025年3月31日現在）



代表取締役社長 小山 馨

2025/3末株主構成(%)
株主数:9,087名

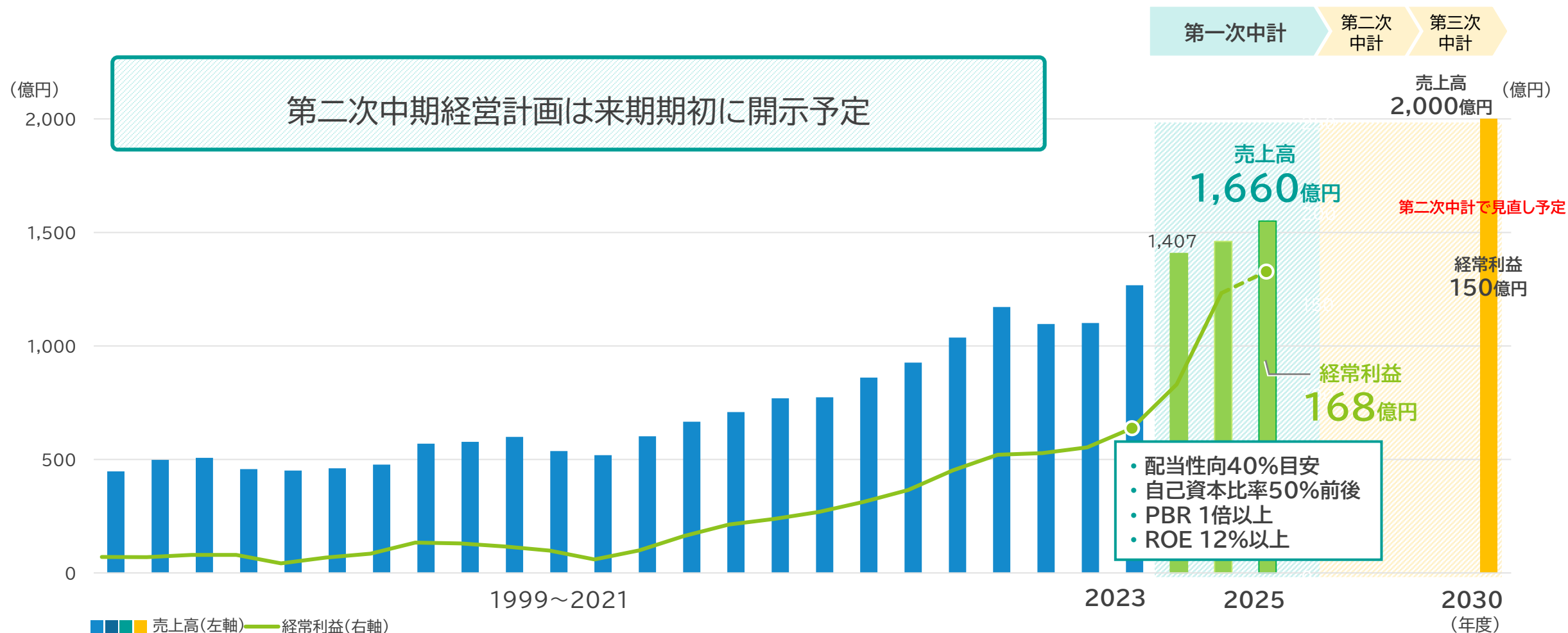


1978年4月 当社入社
 2001年4月 当社大阪支店TAシステム営業部長
 2010年4月 当社大阪支店長
 2016年4月 当社上席執行役員大阪支店長
 2018年6月 当社取締役計装事業統括部長
 2019年4月 当社取締役常務執行役員計装事業統括部長
 2023年4月 当社取締役専務執行役員技術本部長
 兼計装事業統括部長
 2025年4月 代表取締役社長に就任

東テクグループの中長期成長目標

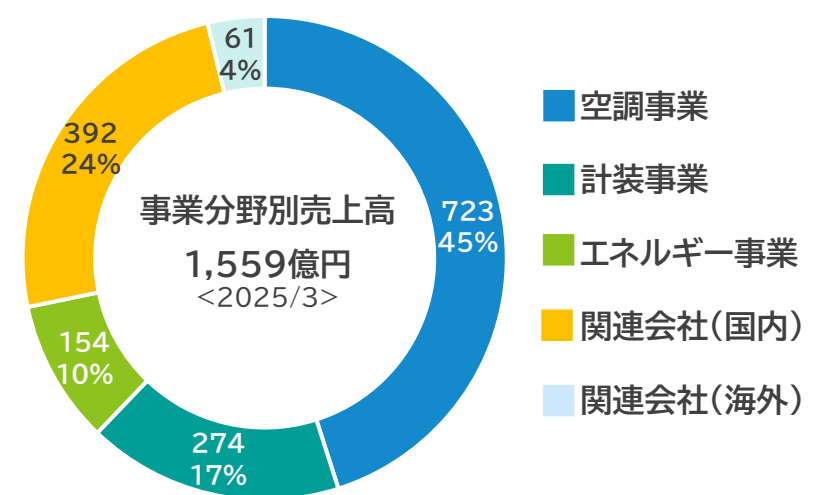
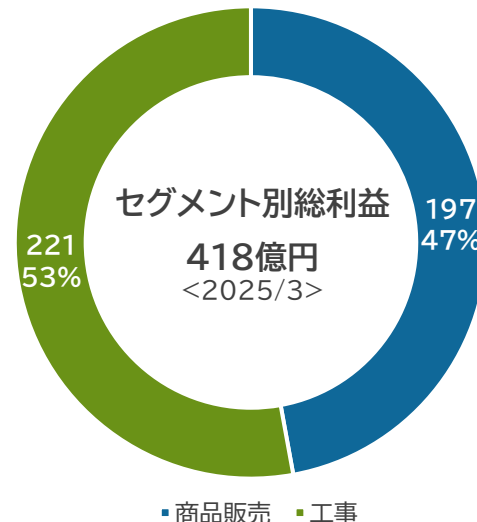
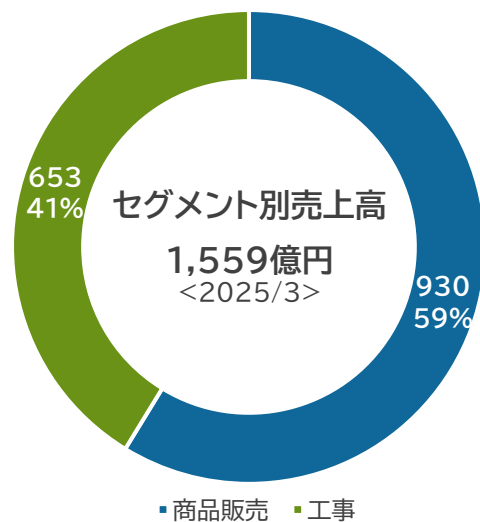


中長期目標として、2030年度に売上高2,000億円、経常利益150億円、第一次中期経営計画として、2025年度に「人にこちよい」経営を実現し、売上高1,550億円、経常利益120億円を目標とした結果、1年前倒しで達成。今回(2025年11月11日)、売上高1,660億円、経常利益168億円に目標を上方修正



- 商品販売、工事セグメントの中で、空調事業、計装事業、エネルギー事業を柱として事業活動を行う
- グループ全体で、商品販売と計装等の工事施工のパッケージ化に加え、保守・メンテナンスも含めた、ワンストップサービスの提供が可能

セグメント: 商品販売、工事		
空調事業	計装事業	エネルギー事業
● 業務用空調機器等の仕入販売、設置、保守・メンテナンス業務等 ● ダイキン工業(株)業務用空調機器の国内大手販売代理店	● 計装機器(ビルオートメーション/管理システム)等の設計・施工、仕入販売、工事、保守・メンテナンス業務等 ● アズビル(株)の大手特約店	● 省エネ・創エネ機器(太陽光パネル、蓄電池)、発電機等の仕入販売、設置、保守・メンテナンス業務等 ● エネルギーソリューション(ESCO事業)等



PURPOSE

東テックの存在意義

東テックグループはこころ豊かな快適環境を創造します

経済性や利便性だけでなく、その先にあるこころの豊かさを求めていくこと。
それがわたしたちの使命です。

第一次中期経営計画

FY2023～FY2025

売上高 : 1,660億円*

経常利益 : 168億円*

*上方修正値を反映(2025年11月11日)

人にこころよい

挑戦・失敗受容文化の醸成

■ 長期ビジョン スローガン

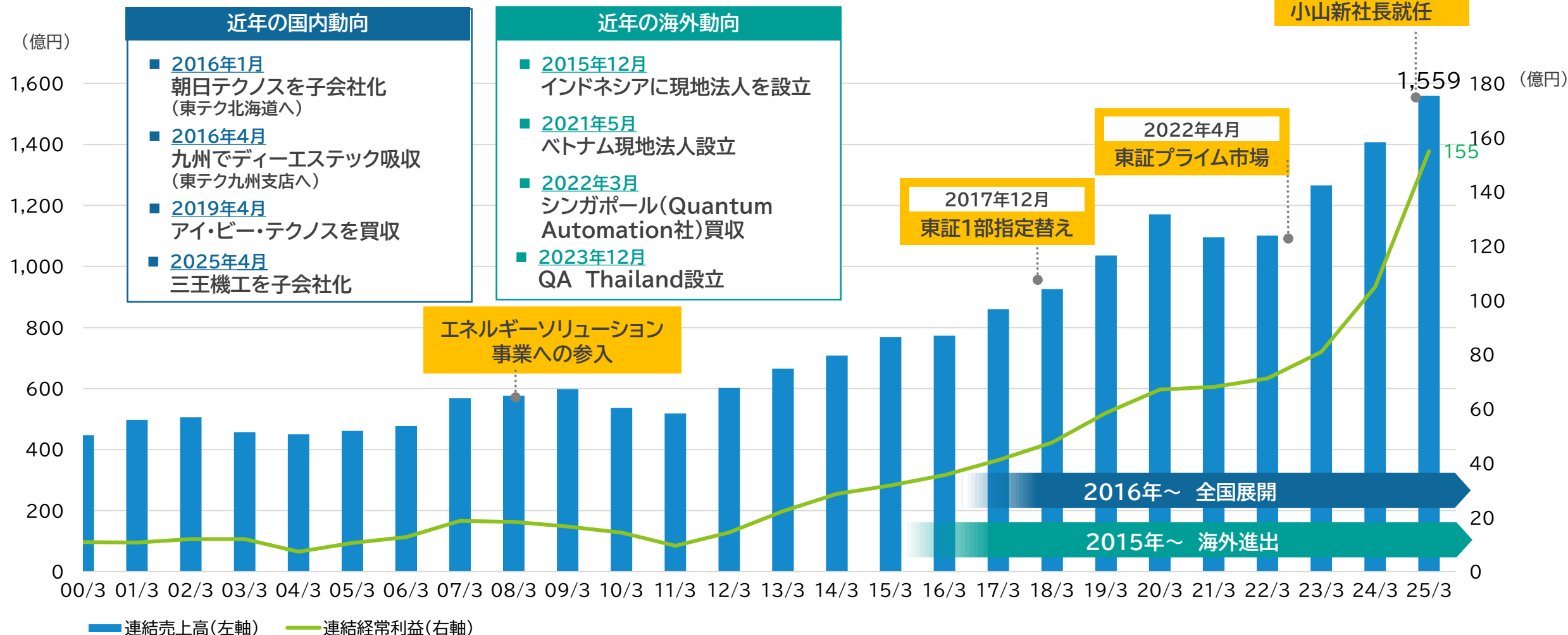
こころよい、をその先へ。

人に、社会に、地球に、こころよい。

そんな新しい時代の「こころよさ」を

技術革新や社会構造の変化を捉え追求する、
一歩先の未来の快適環境を創造できるグループを
わたしたちはめざします。

- 2025年7月、当社は創立70周年を迎えました。オーガニック成長に加え、M&A(国内外)による増収・増益を推進します
- 2025年4月1日より、新社長として小山 馨が就任



第一次中期経営計画では、「人にこちよい」企業グループ実現を目指し、社会的価値および経済的価値の創造を戦略的に進めます。

第一次中計骨子

「人にこちよい」(挑戦・失敗受容風土の醸成)



戦略骨子	社会的価値の創造	経済的価値の創造
① 人財への投資	◎	◎
② ESG経営	◎	
③ コア事業の強化		◎
④ 海外事業の拡大		◎

③ コア事業の強化

幅広いソリューションをトータルで提供できる東テックグループの総合力をさらに強化し、収益力・成長力を高めていきます。

経済的価値
売上拡大と利益体質強化

大型案件・高収益案件への注力

既存顧客深耕・新規顧客開拓



トータルソリューションプランナーとしての総合力

提案力のさらなる強化

商品・サービス力の強化

人財強化・業務効率化



空調 × 計装 × エネルギー × 保守・メンテナンス

3 コア事業の強化

国内市場環境

- 大都市を中心とした再開発案件需要
- 工場 / データセンター等による民間投資による需要
- 省エネルギー / カーボンニュートラルなどに関するソリューションへの需要

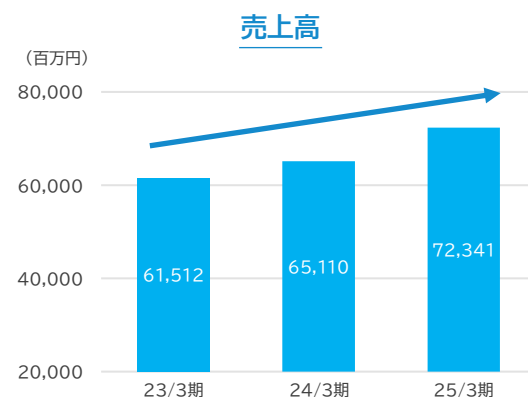


全事業で市場ニーズに捉えた活動を行い実績を積上げ中
(コア事業の拡大に寄与)



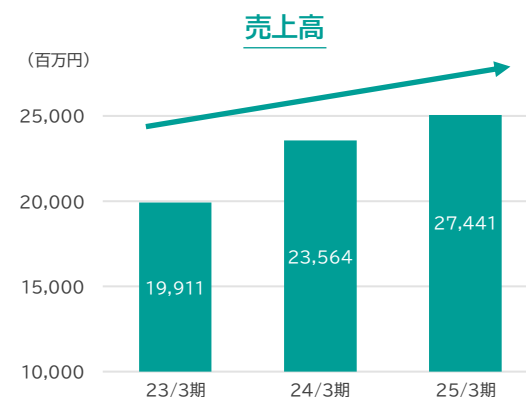
空調事業

- 事業部連携によるオール東テック商材での受注活動
- 付加価値の提供拡大



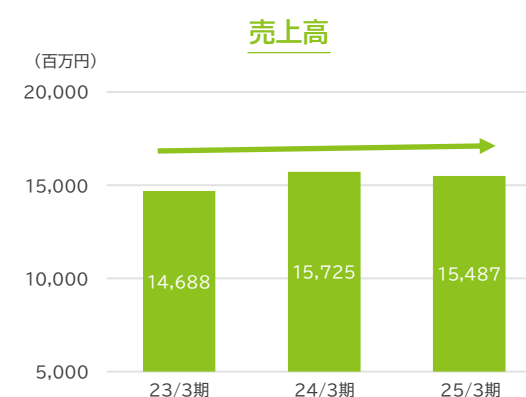
計装事業

- ソリューション事業の拡大
- 保守・サービス事業の拡大



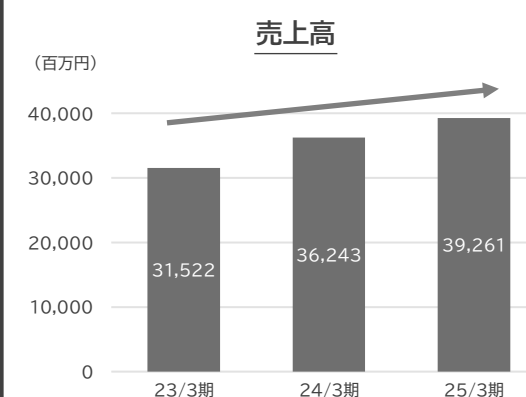
エネルギー事業

- 省エネルギーソリューション提案、太陽光+蓄電池ビジネスの強化
- 取扱い商材の拡大



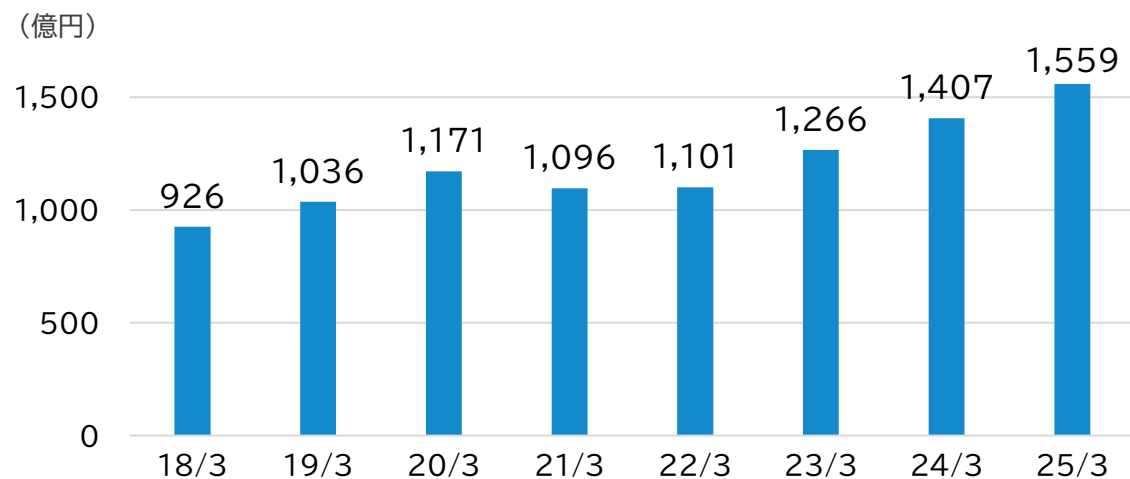
国内関係会社

- 保守・メンテナンス提案拡大 (日本ビルコン)
- データセンター・外資系企業へ 拡販促進(アイ・ビー・テクノス)
- トータルソリューション拡大 (東テック北海道)

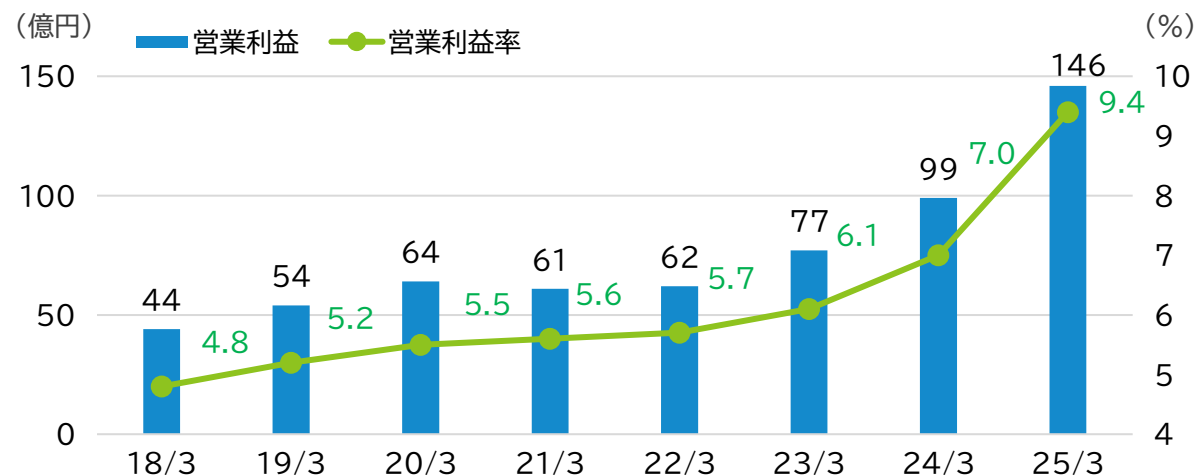


<連結>

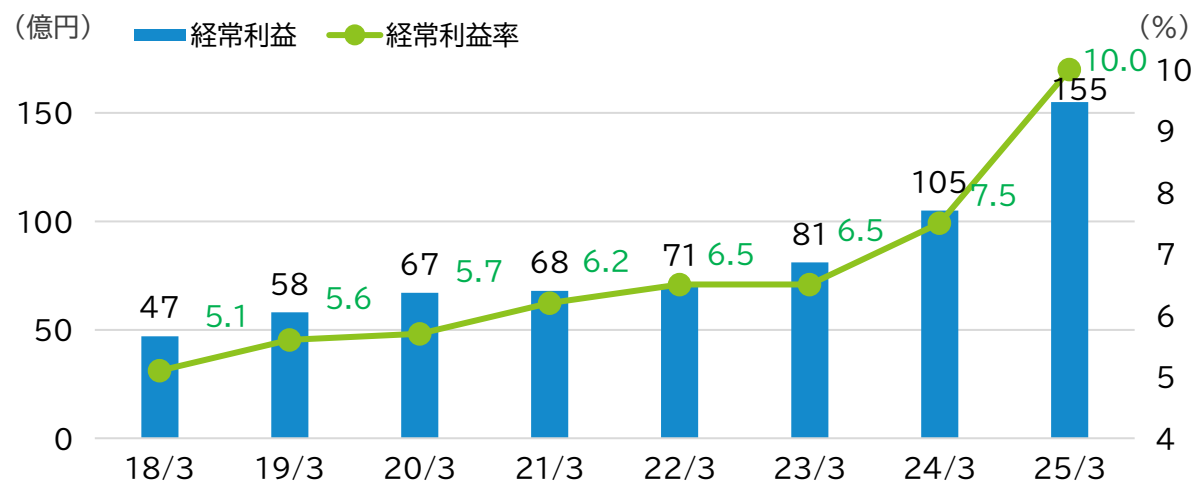
売上高



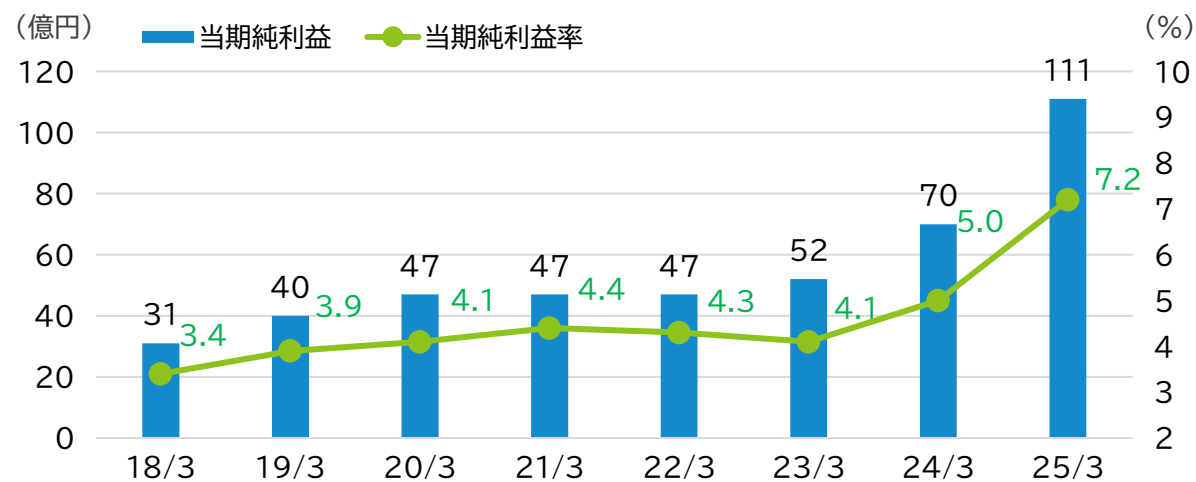
営業利益



経常利益

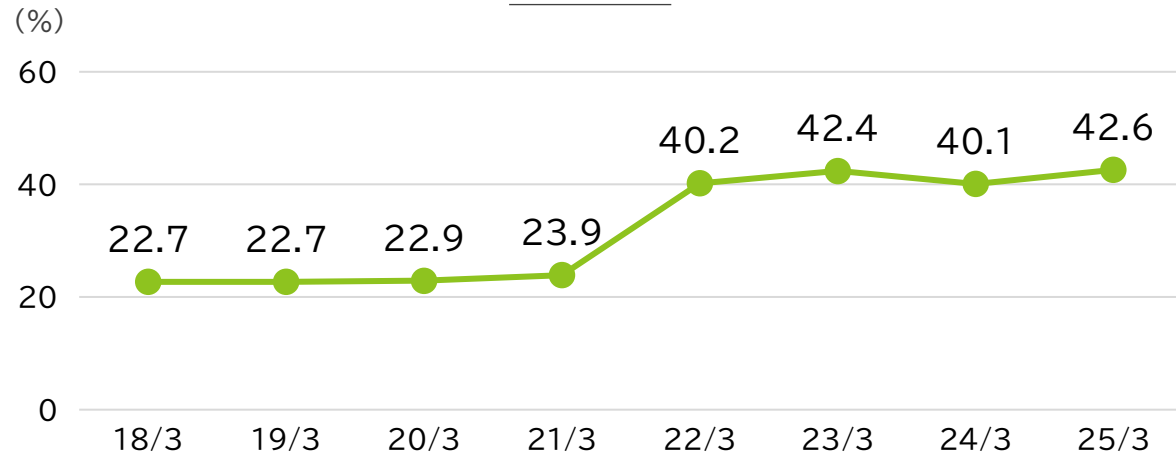


当期純利益

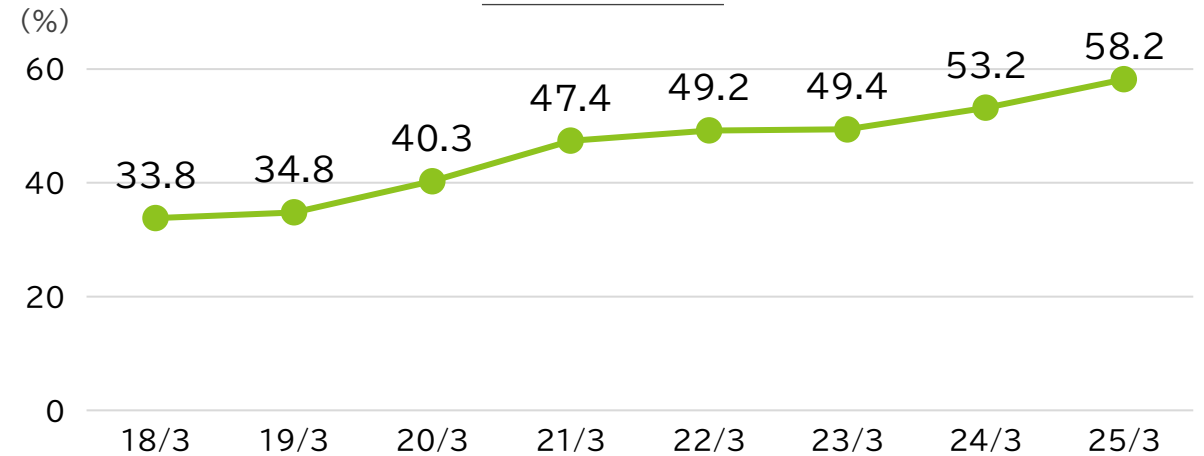


<連結>

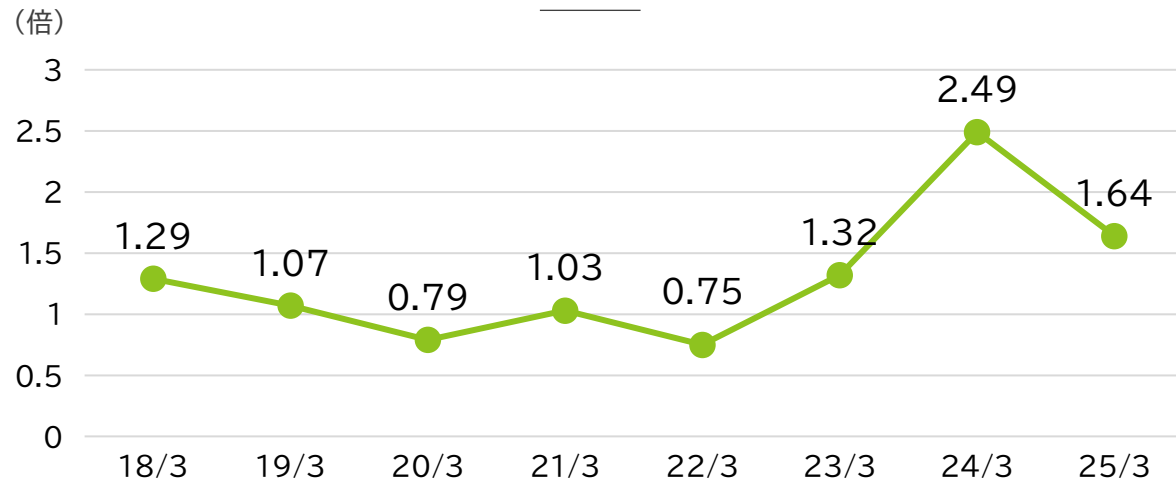
配当性向



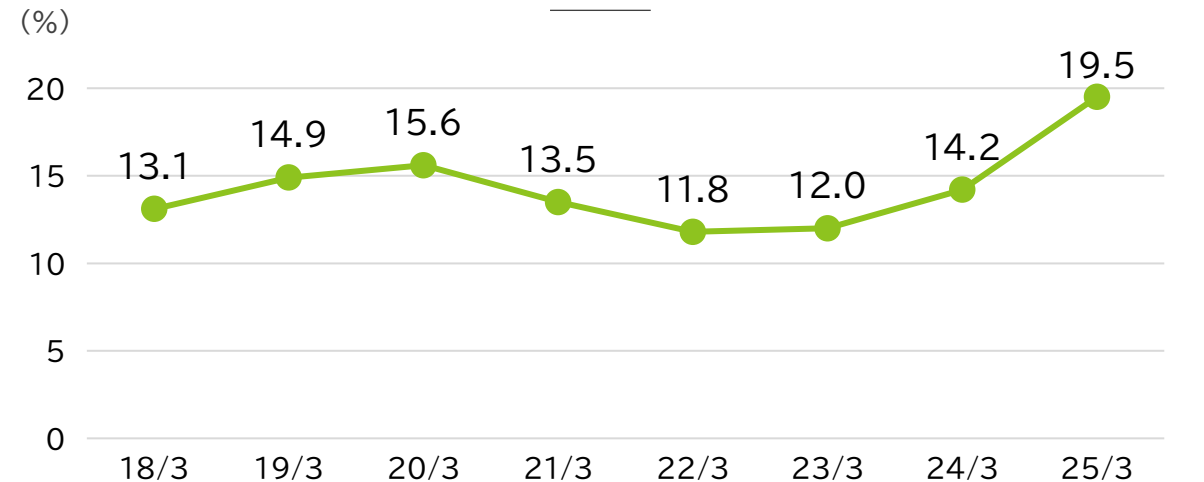
自己資本比率



PBR



ROE



「持続可能な社会の実現への貢献」に向け、マテリアリティ(重要課題)を追求

マテリアリティ	アクションプラン	対応するSDGs
地球にこちよい 持続可能な脱炭素社会の実現と そこに暮らす人々の快適さの両立を目指す	- 省エネルギー化の推進 - 再生可能エネルギーの普及 - 資源の再生、適切な処理 - 事業活動における環境負荷の低減	
社会にこちよい レジリエントな社会を実現する 安心安全で快適な空間づくりを目指す	- 安心安全で高品質な空間づくり - 建物・設備の性能維持、長寿命化	
人にこちよい 多様な人材が集まり活躍できる 企業グループを目指す	- あらゆる人材の活躍と生産性向上 - 品質・技術力の向上 - 安全と健康の維持向上	
健全な経営基盤の強化 社会およびステークホルダーの皆様からの 期待に応え、信頼される企業グループを目指す	- コーポレート・ガバナンスの強化 - コンプライアンス遵守 - ステークホルダーとの対話	

→ 取り組みの成果は、当社「サステナビリティ」サイトに掲載

【免責事項】

※本資料に記載している業績予想、計画値、見通し等将来に関する情報は、本資料の公表日現在において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なった結果となる可能性があります。従いまして、本資料のみに依拠した投資判断は、くれぐれもお控えくださいますようお願いいたします。

※本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではありません。

※本資料は金融商品取引法上の法定開示書類ではなく、その情報の正確性や完全性を保証するものではありません。

※本資料は、投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成しており、投資の勧誘を目的としたものではありません。

【お問い合わせ先】

経営戦略本部 広報・IRグループ

MAIL:ir@totech.co.jp



東テックグループキャラクター

ここちい